

掴み取った日本一、次は三冠を目指して

コロナ禍により他の公式戦が軒並み中止になる中、無観客で開催された春の高校バレー（バレーボールでは唯一の全国大会）で優勝した福岡県代表・東福岡高等学校。遠く離れた福岡の地で頑張る、燕市出身の坪谷悠翔さんを紹介しします。

「優勝が決まった瞬間、バレーをやってきて良かったと思いました。大好きなバレーで日本一になったのは本当にうれしいです」

バレーボールとの出会いは幼稚園のときでした。家族で観ていた全日本の試合でその迫力に魅入られた坪谷さんは、小学1年生でバレーボールクラブに入部。小・中学校で華々しい成績を残すと、卒業後、新潟を離れ、強豪・東福岡高校へ進みます。

「監督が福岡市からスカウトに来てくれて。東福岡のバレーは一球一球に魂が込もっていて、全員がバレーに対して真剣に向き合っていると感じ、進学を決めました」

コロナ禍により、みんなで集まって練習できない時期もありましたが、オンラインでミーティングや自主トレーニング



つぼや はると
坪谷 悠翔さん(燕市出身・福岡市在住)

●第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会 優勝
優秀選手賞 受賞



▲アウトサイドヒッターとして活躍する坪谷さん。決勝でも優勝に大きく貢献しました。

ニングを重ね、鍛錬に励みました。合流したとき、自分やチームメイトの成長がはっきり分かったそうです。

そして迎えた春高決勝戦。2年生ながらレギュラーで戦い続けた坪谷さんは、これまでやってきたことを信じて試合に臨みました。

「こういう状況なので、途中で棄権したチームもありました。大会が開催されたこと、試合ができたことにとっても感謝しています」

今季最後の大会が終わり、学校ではすでに新体制での練習が始まっています。先輩たちの後を継ぎ、今度は坪谷さんがチームを引っ張ります。

「先輩が優勝を決めたスパイクがとても印象に残っています。次は自分たちが3年生。インターハイ、国体、春高の三冠をとることが目標です」

紙上ブログ

燕市長 鈴木力

2月6日、令和2年度の「燕市表彰式」を開催しました。

今年度の表彰を受けられた方は、地方自治、社会福祉、保健衛生、教育、防災、交通安全、ボランティアなどの分野で長年、燕市のためにご尽力いただいた皆さまに贈る「市政功労者表彰」が45名、3団体。

また、全国規模のスポーツ大会などで顕著な成果を収められた方に贈る「燕大賞」が3名でした。

おめでとつございます。皆さまのご功績に対し、深く敬意と感謝の意を表するとともに、ご家族や関係者の皆さまにもお祝い申し上げます。

今後のさらなるご活躍を心よりお祈りいたします。

▲こちらは有料広告です。

おかげさまで県央エリアご利用10,000世帯

超高速光インターネット

NCT光

分水^{エリア}好評受付中!

※一部エリア・建物でサービスをご提供できない場合がございます。

インターネット・ケーブルテレビ・電話
エヌ・シー・ティ

0120-080-009

3ヶ月まとめてギガおトク!!

インターネット Wi-Fi 使い放題!

ケーブルテレビ アンテナ不要

固定電話 基本料・通話料がおトク!



長岡市干場1丁目7-9 www.nct9.co.jp NCT
【電話受付】9:00~18:00 (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00)

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。